

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	トイロ大船		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2026年1月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2026年1月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	積極的なコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日職員会議を行い、児童の情報の共有や1日の流れをスタッフ間で実施している。</li> <li>職員が一つの部屋で業務に取り組むことで、気軽に相談しやすい雰囲気づくりを行っている。</li> <li>パートナーとの会話の機会を積極的に持っている</li> </ul>	積極的にコミュニケーションを図りながらも、メリハリのある業務姿勢を持てるようにする
2	保護者参加のイベント実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に保護者参加のイベントを実施している。</li> <li>参加した保護者と話し、パートナーの情報共有を行っている(家族支援・子育てサポート)</li> </ul>	参加率も高い為、より多くの保護者の方に来ていただけるよう、平日実施も視野に入れる。
3	定期的な必要事項の説明実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約やモニタリング等、児発管と協力をしながら懸念点をあらかじめ保護者に伝えるようにしている。</li> <li>専用のシステムを通じて、保護者にお便りを発信している。</li> </ul>	定期的に伝達事項の見直しをする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者機関との連携が希薄	外部でのケース会議は実施しているが、事業所内での会議や訪問等は実施が少ない。	事業所発信でケース会議や面談の実施を行うことはできているので、パートナーがいない時間帯に実施することを視野に入れる。
2	プログラム案の固定化	パートナーの興味関心を十分に取り入れたプログラム案の計画、実施	個別支援計画書や専門支援計画書の作成におけるアセスメント面談とは別で、パートナーや保護者との面談の機会を設定する。
3	人材育成	人材育成の見直し	人材育成担当を任命したり、マニュアルを別途作成したりして、新人が困らないようにする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トイロ大船

公表日 2026年3月10日

利用児童数 49

回収数 21

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1	0	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	5	0	4	自宅への送迎が遅くなるのが度々ある。	申し訳ございませんでした。渋滞等でご希望の到着予定時間に遅延が発生した場合には早めにご連絡をするようにいたします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	3	0	5	階段が多い	建物の特性上、ご迷惑をおかけしております。職員間でも共有・検討会議を重ね、利用者の皆様が快適に過ごせるようにしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	2	1	1	ジョイントマットがボロボロ	ジョイントマットは毎日清掃しておりますが、経年劣化等で消耗が激しいものになります。張り替え頻度の見直しを今後行ってまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1	0	1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1	0	9		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	3	0	5		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	4	0	5		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	4	0	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	2	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	2	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	1	0	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	1	0	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	2	0	2		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	1	0	1		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1	1	1	・メールの返信に時間がかかるときがある	申し訳ございませんでした。職員の出勤状況もございますのでご理解いただけますと幸いです。今後は迅速に対応できるように努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	5	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	4	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	4	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	2	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	2	0	1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		トイロ大船				公表日	2026年3月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	2		日中一時支援の部屋が狭く感じるが、人員配置を考慮して対応している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	3		職員が急に休んでしまうときや、個別対応が必要な児童がいると支援者の数が足りなく感じる	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	2	職員間でも共有・検討会議を重ね、利用者の皆様が快適に過ごせるようにしていく	様々な特性を持っている児童が多いので、環境設定が難しい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	2	職員が声掛けを積極的に行い、明るい雰囲気になっている。	様々な特性を持っている児童が多いので、環境設定が難しい	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	2		専用で整備されているわけではないが、個室は用意されている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	2		気づいた職員が積極的に取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	3		外部の方が来所する機会が少ない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	3			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	2			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	2		児童の情報共有を全体的にしていく必要がある。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	2	ラインワークスで共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	2			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	2			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	2	イベントカレンダーの作成の際には一人で考えず周りにも聞くようにしてイベントを考えている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	2		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	2	ラインワークスで全体共有もしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	2		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	2		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	2		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	12	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	4		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	5	朝礼を行う際に送迎の読み合わせを行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	5		保育園等との事前の情報共有の必要性を感じている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	6		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	11		もっと多くの機会を設けたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	11	公園や室内遊び場で関わることはある	頻度はかなり少ないため、もっと多くの機会を設けたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	10	機会があれば参加したい	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	2		送迎の際に共有の漏れがないように職員間で共有し伝えている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	3			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	2		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	2		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	2		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	12	0	日ごろの困っていることなどの共有をしていきたい。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	保護者が納得するまで話を聞くようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	2	ブログでお知らせしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	2		絵カードを積極的に使用する
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	2		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	2		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	11	家族とのやり取りで対応をしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	2		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	5		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	研修の機会を設け、話し合いを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	0	会議時に代替支援の方法を検討している		